

日本熱測定学会第46回通常総会議事録（案）

日時：2019年10月25日(金)16:40-17:40

場所：第55回熱測定討論会A会場（近畿大学 東大阪キャンパス）

議長：齋藤一弥，古賀信吉

書記：名越篤史，引間悠太

出席者：159名（会場出席者79，委任状80）（定足数115）

配布資料：

1. 日本熱測定学会第45回通常総会議事録（案）
2. 日本熱測定学会第46回通常総会議事

議事概要：

1. 第45回通常総会議事録の承認（齋藤）
第45回通常総会議事録（資料1）について説明があり，原案通り承認された。
2. 2019年度事業報告（神崎）
神崎庶務幹事から，議事資料（資料2，1ページ）に基づき，2019年度事業報告があり，熱測定エクスプレスや熱測定コンシェルジュなどの新サービスの紹介等がなされ，原案通り承認された。また齋藤会長より，会員数の減少傾向に歯止めがかかっていることが補足説明された。
3. 2019年度収支決算（麻見）
麻見会計幹事から，議事資料（資料2，2ページ）に基づき，2019年度収支決算が報告（2019年9月に木村会計監査による監査済み）され，原案通り承認された。決算期の変更から2年たち，赤字が増えていることがはっきりしてきたこと，会費の増額を推奨する旨について説明があった。また，特別会計についての寄付金に関して補足があった。会費値上げの根拠に関する質疑があり，齋藤会長より会員数減が根本的な要因であり，現在の事業規模では今後も赤字が拡大する見込みであるとの説明があった。
4. 会則改正（齋藤）
議題に先立ち神崎庶務幹事より，総会が成立している旨のアナウンスがあった。齋藤会長より，議事資料（資料2，2-3ページ）に基づき，会費値上げに関する会則改正について，会費値上げの背景，維持会員に対する対応（会費値上げ幅が大きい代わりに，学会主催行事に5名まで正会員料金で参加可，口数に応じた熱測定エクスプレスの発信枠といった特典を新設），会費減免制度に関する説明があり，本改正案が委員21名（全27名中）の賛同をもって提案された（会則31条に則り，委員2/3以上により会則改正提案可能）旨が説明された。会場から会員増員の方策や，会員年齢構成を踏まえた今後のシミュレーションに関する提案などがなされた。反対：0，保留：0，賛成多数により，改正案は原案通り承認された。齋藤会長より，既に実施した会費徴収については改正前

の金額で、今後の会費徴収は改正後の金額で行われること、それに伴い来年度に関しては赤字が完全には解消しないことが補足説明された。

5. 2020年度役員紹介（古賀）

齋藤前会長から、古賀新会長へ議長の交代があった。古賀会長より、議事資料（資料2，4ページ）に基づき、2020年度役員の紹介があり、承認された。

6. 2020年度事業計画及び2021年度暫定事業計画（三木）

三木庶務幹事から、議事資料（資料2，5-6ページ）に基づき、2020年度事業計画および2021年度暫定事業計画（2020年8月から次回総会まで）が説明された。運営会議などの数は例年通りであるほか、ハンドブックの発行予定、租徠会員からの申し出で国際協力のIUPAC担当を削除することが補足され、原案通り承認された。川路会員より11月に開催される国際シンポジウム（阿竹シンポジウム）に関する補足があり、ポスター発表の参加呼びかけがあった。三木庶務幹事より、次回の熱測定討論会の開催日程が2020年9月9日から11日となった旨について補足説明があった。また、17th ICTACが8月30日から9月4日にクラクフ市（ポーランド）で、CATS-2020が9月18日から20日に泰安市（中華人民共和国）で開催されることが報告された。

7. 2020年度収支予算及び2021年度暫定収支予算（本多）

本多会計幹事から、議事資料（資料2，6-7ページ）に基づき、2020年度収支予算および2021年度暫定収支予算（2020年8月から次回総会まで）が説明され、原案通り承認された。会誌発行費、会議費の削減が行われたとの補足があった。

8. その他（古賀）

齋藤前会長から、第57回熱測定討論会がつくばで開催されることが決定したことが報告された。学会賞の締め切りについてアナウンスがあった。関連国際会議について中澤会員より案内があり、特にICCT2022が大阪にて2022年7月31日から8月5日で開催される予定であることが報告された。古賀会長よりICTAC Award, Young Scientist Award, Travel Grantsに関する案内があった。会場より、会誌PDFの一般会員への配布について質疑があった。

9. 学会賞等授与式

古賀会長から、学会賞1件、奨励賞2件が授与された。